

# ベルリンの壁崩壊30周年記念パネル展

今年ベルリンの壁の崩壊から30周年を迎えます。

1989年11月9日のベルリンの壁崩壊はその後の東西ドイツ統一や中東欧諸国の民主化、さらには欧州の統合を導く大きな歴史的イベントでした。

このたび鹿兒島大学では大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館より提供された20枚のパネルを通して、戦後のドイツの東西分断から壁の建設、東独の民主化運動と壁によって引き裂かれた人々の悲劇を振り返ります。



写真：ベルナウアー通りに残る壁  
(Thomas UlrichによるPixabayからの画像)

**会期：2019年10月11日(金)～10月31日(木)**

**場所：鹿兒島大学附属中央図書館1階アトリウム**

\*入場無料。一般の方も観覧できます。受付にお申し出ください。

\*展示の日時は図書館の開館時間に同じです。図書館ホームページでご確認ください(土日も開館)。

主催：鹿兒島大学法文学部

共催：大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事館  
鹿兒島日独協会

後援：鹿兒島県  
鹿兒島県教育委員会

お問合せ：中島 大輔(099-285-8895)  
nakajima@leh.kagoshima-u.ac.jp